

3月定例議会後の行政活動内容や資料についての詳細は時間の関係上、上島町ホームページ内の町長活動報告に代えさせていただきます、この場においては主な事項のみを報告させていただきます。

3月から4月にかけての旅立ちと新たな出会いの季節には、3月1日の弓削高校を皮切りに、各保育園・小学校・中学校・弓削高・商船学校などの卒業式や入学式に出席させていただきました。離島留学においても、今年度は魚島「さざなみ留学」に9名、弓削高校「ゆめしま寮」に11名と、寮以外に4名、その他留学生にカウンセトしていない因島からの1年生4名を含め群馬県から山口県まで、全国から大切なお子様を迎えました。魚島離島留学退寮式においては、この1年間の子どもの成長と、保護者や関係者の皆さまのご協力を想うと、我が子が旅立つていくような気持ちになりました。子ども達はみんな明るく元気に通い、上島町に明るさと活気を届けてくれるなど、上島町にさまざまな相乗効果をもたらしてくれています。

3月8日には、名誉町民である村上幸史さんによるスポーツ教室が開催され、将来オリンピック選手になるかも知れない子ども達への指導をいただきました。

まの思いなどを聞かせていただき、少しでも後押しとなるよう、できる取り組みをしっかりとさせていただきたい。」とお話をいただき、上島町における官民連携による横断的な取り組みを発展させていかなければならないことを再認識しました。

3月31日には、新生児誕生記念品贈呈式を開催いたしました。式では「新たな命の誕生を祝うこのすばらしい機会に、ぜひお互いの顔を覚えていただき、困ったときに助け合う関係を築いていただきたい。」とお祝いの言葉を申し上げました。これからも私たちの町が、子育てしやすい環境であり続けられるよう取り組んでまいります。

4月1日の年度始めの全体課長会においては、今年度の重点施策として「少子化対策・子育て支援」を町の方向性の軸に掲げ、担当課である住民課だけではなく「全課」が横のつながりを持って住民福祉のために動くよう指示しました。

4月3日には愛媛県庁や関係機関を、10日には高松の整備局や運輸局、財務局などへ。15日からは東京において各省庁や国会議員へ、延べ165箇所（県関係71箇所、四国関係36箇所、国関係58箇所）へ新年度の挨拶回りを兼ねて情報収集や要望活動を行いました。このような国や県に対す

3月9日には、ゆめしま海道いきなマラソンが開催され、北海道から宮崎県までの26都道府県からさまざまな分野の方々、国や県の職員の皆さんなど、1060名のランナーが爽やかな天候に恵まれた「ゆめしま海道」を駆け抜けました。ゲストランナーに、女子フリースタイルスキー・モーグル元選手でオリンピック5大会連続出場の上村愛子さんや、名誉町民の村上幸史さん、愛媛マラソン覇者の愛媛銀行中村佳樹さんなどをお迎えし、上島町民の多くがお迎えする温かい大会に成長したことを実感しました。

3月10日、愛媛県東京事務所河上所長をはじめとする県職員の方々が海外の視察者とともに上島町を訪問していただき、観光客誘致を含めた可能性を協議いたしました。最近はさまざまな方々の視察が増えており、いつの日か果実が実ることを期待しています。

3月16日、東広島市福富町において、第21回アクアの森植林交流会が開催され、上島町民41名に参加いただきました。東広島市の尾村産業部長をはじめ、福富町のすいすい倶楽部の皆さまからの歓迎を受け、官民連携で福富創生プロジェクトを推進する「みらいの里山プロジェクト」等のお話を聞かせていただきました。いつも地元すいすい倶楽部の皆さまには暖

る「行政活動」については、私は町長の重要な仕事のひとつとして認識しておりますので、今後も上島町にとって有益な施策や補助金・交付金等の獲得のため、更なる要望活動を実施したいと考えています。

3月26日から4月10日の間、岩城積善山周辺にて、いわぎ桜まつりを開催し、4月6日に開催したメイスイベントでは、町内外から約2000人の来場者がありました。桜公園ステージで桜の花びらが舞う中、地元出演者による演奏やダンス、来場者参加型のもちまきやゲームなどで大いに盛り上がりました。また、飲食や特産品販売などで30店舗の出店があり、食事を楽しむ来場者たちで終始賑わいを見せていました。なお、積善山頂上付近の桜は、老木化により寿命を迎えていることから再生が不可能という樹木医からの診断を受けました。町としては戦後から桜を植樹されてきた先人たちの思いを絶やさないよう、今後も山頂尾根沿いの桜の植替えを計画的に実施し、多くの方が積善山の桜を楽しめるよう、桜の保全活動に力を入れてまいります。

4月12日にはマッダスタジアムにおいて「広島対巨人戦」が開催され、昨年に引き続き上島町の観光PRを行い町の魅力を発信してきました。当日は天候にも恵まれ、観客数約

かく迎えていただいております、今後も上島町で開催されるイベント等での交流を重ねたいと考えています。



サイクリング関係では、3月17日に広島県福山市で「Setouchi Velo協議会」、3月23日には愛媛県鬼北町で「シクロクロス大会」、4月29日は、高知県宿毛市での「自転車を活用したまちづくり全国市区町村長の会四国ブロック会議」にそれぞれ参加しました。現場をロードバイクやマウンテンバイクで走るとともに、日本一のサイクリングロードだと自負している「ゆめしま海道」をPRしてまいります。

観光PRに関連して、4月24日、上島・ゆめしま魅力発信アンバサダー任命式を行いました。アンバサダーとは「宣伝・観光大使」の意味があり、上島町に関心と愛着を持ち、町の魅力を幅広く発信・応援いただく人物を選定する目的で令和7年度に制度化したものです。その第1号アンバサダーとして、雑誌「Cycle Sports」

3万2千人の中で、上島町のパンフレット配布やかみりんとお客様とのふれあい交流も行いました。また、上島町のブースには町内5事業者が参加し、昨年以上のラインナップで、地元の食材等を活かした飲食や特産品の販売はお客様に大変好評で「また来てほしい」とのお声がけもいただきました。今回は、6月21日の「広島対楽天戦」に参加いたしますので、時間が許される町民の皆さまはぜひマッダスタジアムまで足を運んでください。

4月27日、高井神島において「漫画学校開校式」が開催されました。この漫画学校は、廃校となった高井神小中学校の校舎を一般社団法人「なたおれの木」が漫画学校に改修したもので、有名漫画家を講師に迎えて一般向けの漫画講座を行うものです。この島をどう活性化するか考えていたところ、漫画で島を盛り上げようとの提案は大変驚いたものですが、漫画は世界に誇れる日本の文化であり、この小さな島から発信された漫画が世界に羽ばたいていき、地域活性化や交流人口の増加につながるものと期待しています。また、当日は、開校記念として町内小中学生を対象とした1日漫画教室も開催され、20名の児童生徒がプロの漫画家の先生に漫画の描き方を教わりました。参加した生徒は、「教わった技術は知らない

編集部統括編集長の「迫田賢二氏」を任命いたしました。迫田氏は、全国各地のサイクリングコースの取材やサイクルツーリズムに向けて多数の取り組み行っており、これまでも取材のために上島町を何度も訪れ、上島町に関心と愛着を持つ魅力発信に取り組んでいただいています。今後、上島・ゆめしま魅力発信アンバサダーとして、サイクリストを中心に、交流人口の増加や観光振興を推進し、町の魅力を幅広く国内外に発信していただけるものと期待しています。

3月26日から27日にかけて、国土交通省四国地方整備局藤原次長ほか2名、および全国二地域居住プラットフォーム加盟企業である東京海上日動火災保険株式会社元国土交通省国土政策局長を勤められた木村顧問ほか2名が、国土交通省が推進する「二地域居住」や「地域生活圏」の計画策定において、上島町で活動されているプレイヤーの話を聞きしたいとのことで、上島町視察に来られました。今回は、柑橘栽培者、移住者、離島留学生、起業家等、さまざまな町のプレイヤーと面談をしていたが、町民目線での上島町の魅力や取り組み、また上島町の現状や課題等を知っていただけるよい機会となりました。藤原次長からは、「数々の前向きな取り組みや活動されている皆さ

ことばかりで、今までよりも上手に絵が描けるようになった。漫画学校の影響で島にたくさんの方が来て、上島町の魅力を知ってほしい。」との話があり、受講した児童生徒にとっても大変貴重な経験となりました。

5月10日には松山「坊ちゃんスタジアム」において「子規記念杯野球大会」が開催され、イワキテック硬式野球部が出場しました。現場で応援した私の想像以上に好ゲームであり、6月の第96回都市対抗野球大会四国予選など今後の活躍に期待をします。町民の皆さん、町民球団としてイワキテック硬式野球部を応援していきましょう。

5月11日、今治市アシックス里山スタジアムにおいて、FC今治vsジェフユナイテッド千葉・市原戦が行われ、上島町もマツタウンで参加しました。会場は、5000人越えの来場者数があり上島町ブースでのPRや、スタジアムグルメで参加した町内2店舗のブースに長い行列ができるなど大変好評で、上島町の魅力を伝えることができました。また、弓削サッカースクールの子ども達も、ウェルカムピッチフラグキッズで参加し、試合を盛り上げるとともに白熱したプロのプレーに感動を覚えたのではないのでしょうか。

5月17日、いきなスポレクにおいて、愛媛マングリンバイレッツ公式戦が開